



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 越田和徹
幹事 小澤 啓一
SAA 鈴木 雅之
会報小委員長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2020 - 21 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

第 2839 回 例会 令和 2 年 12 月 2 日 (水・曇)

会員卓話 木村博昌会員

君が代

— 今月は疫病予防と治療月間です —

ロータリーの目的
越田和徹 会長



◎会長報告—越田和徹会長

皆さん、こんにちは。早いもので 2020 年も残り 1 カ月を切りました。12 月は今年 1 年を振り返り反省する月ではないかと思ひ、1 年を振り返ってみましたが残念ながら何があったか見つかりませんでした。私の脳が私の任期半年もつかどうかわかりませんが、その時は皆様のお力をお借りすることになりますので宜しくお願いします。今年 1 年は、コロナに始まりコロナに終わった 1 年ではなかったかと思ひます。今日の福島民報を見ても 5 面にコロナ関係の記事が掲載されていました。来年はコロナと決別し、全てにおいて素晴らしい年になりますよう願っております。最後に本日の卓話は会員卓話です。宜しくお願いします。

◎幹事報告—小澤啓一幹事

ロータリー財団及び友の会からコロナ関連のニュースと高萩ロータリークラブ創立 50 周年記念誌が届いています。
本日は月始めの例会ですので終了後に理事会がございます。理事者の方は残って下さい。

◎各委員会報告

◇出席委員会

—高萩勝利小委員長

本日の出席状況は下記の通りで



す。なお、今年度の平均出席率は、75.52 パーセントになります。

◇スマイルボックス委員会—佐藤政司小委員長

金成通太会員 12 月誕生日おめでとうございます。越田和会長、星副会長、嵐会長エレクト、小澤幹事、林副幹事、鈴木、佐藤(政)、木幡、渋谷、鈴木(敏)、鈴木(秀)、富澤、渡邊公平パストガバナー、鈴木(雅)、赤津(善)、高萩各会員

・11 月の誕生日祝ありがとうございました。

荒川(義) 会員

・11 月の出席奨励賞ありがとうございました。

赤津(和) 会員

・前回休んでごめんなさい。

木村(義)、木村(博)、白井各会員

・本日早退ごめんなさい。

齊藤会員

◎親睦活動委員会—木村博昌小委員長

今月 12 月誕生月の方へ誕生日祝を差し上げたいと思ひますが金成通太会員が欠席されていますので次回お渡し致します。

なお、11 月が誕生月でした荒川義次会員へ本日誕生日祝を差し上げたいと思ひます。前の方へどうぞ。遅く



なりましたがおめでとうございます。

◎社会奉仕委員会—川口登志雄委員



皆さん、こんにちは。今日、社会奉仕委員会久野委員長が欠席です。私の方から報告させていただきます。去る 11 月 30 日(月)に勿来高等学校の校庭を使い、い

わき支援学校くぼた校全員と一部勿来高校の生徒さんも加わっていただき、またなこ幼稚園の園児 72 名の参加で勿来まちづくりサポートセンターの主催で窪田町地域の皆さん、金融団の皆さん等多数集まっていたいただき、ピオーラとチューリップの球根をプランター 130 程作り街中に配布致しました。お蔭様で多数の人数で盛大に行うことが出来ました。福島民報社のいわき支社長がいらして取材をしていただきました。

◎次期副会長挨拶—齊藤 隆会員



皆さん、こんにちは。次期副会長をお受けした齊藤です。今年度の国際ロータリーのテーマは、ロータリーは機会の扉を開くという事で、私の心の扉も開いてしま

ったようです。私は 3 年前に創立 60 周年が終わったら退会するという決意がありました。それは何人かの方々にはお話をしておりました。鈴木年度の時に息子が J C の理事長がどこで来るかわからないということもあり、小さい会社なので 2 人でいなくなるわけには行かない。親としては子どもの背中を押してやろう、成長させてやろうという気持ちがありましたので、60 周年後に退会しようと思ひ嵐会員に変わっていただき、その後星会員に変わっていただきました。私も地域やその他の役職が多くなって来て会合が水曜日の 1 時や 1 時半にあります。私的には地域に貢献したいという気持ちがあってそれは変わらず、今年も副会長のお話が来て 60 周年後に退会するので引き受けられない。ロータリーの友情は素晴らしいものがあり、私の気持ちが折れた訳ではありませんがいつまでも受けないと言えず、受けるべきだと考えました。これから楽しいロータリーを会員の皆様と築き上げて行ければと思っています。

◎会員卓話

親睦活動委員会 木村博昌小委員長



皆さん、こんにちは。本日会員卓話を親睦活動委員会でお話をいただきましたが親睦活動委員会の皆さんが業務多忙ということで私が 1 人で卓話することになり

ました。越田和会長は委員会の事ではなく、自分自身の事を話しても良いと言われましたので、私の生い立ち 47 歳これまでの人生を振り返ってみようと思ひます。私は木村博昌と申します。会社は瀬戸砕石に勤務しており、この会社は私の祖父が設立し、その後私の父、私は昭和 47 年 3 月に木村家の次男として生まれました。昭和 47 年という年をネットで調べてみると札幌冬季五輪、浅間山荘事件があった年です。小さい頃母からお前が腹にいた時、テレビ中継を見ていたと聞いていました。改めて当時の映像を見てみると令和の穏やかな世の中を実感します。昔は一生懸命生きて、良い事悪い事に限らず、激しい時代だと感じました。その後私は勿来第一小学校、勿来第一中学校を卒業し、勿来工業高校の機械科に進学しました。時代はバブルを迎える 1980 年代日本が元気な時に思春期を迎えて、何も考えないで学校に通学しておりました。その頃私には兄がいたので会社は兄がやるものだと思っていて過ごしていました。小学生からサッカーをやっていたので今もテレビでサッカーの試合を見る事が多いです。勿来工業高校から会社を手伝えと父から言われましたが、外の世界が見たくて東京の会社に就職しました。当時、東洋紙業株式会社という印刷会社で業界ナンバー 3 だったと思ひます。そちらの工場の中で 3 交替で頑張っていた記憶があります。このまま東京で仕事を続けるか父の会社を手伝いに戻るか悩み田舎へ帰ることにしました。その迷っている時に阪神淡路大震災がおき、続いて地下鉄サリン事件があり私も通勤に鉄道を使っていたのでぞっとしました。バブルが終り景気が悪くなり印刷会社退職後不動産の営業をしていましたが売れず、1 日中電話を持ってアポを取っていました。これではだめだと思ひ平成 7 年に田舎へ戻って参りました。会社での仕事は、墓石の販売と営業と現場で平成 28 年まで続けました。

出席状況	正会員数	46 名	カード出席	3 名
	本日出席会員数	29 名	本日の修正出席率	71.11%